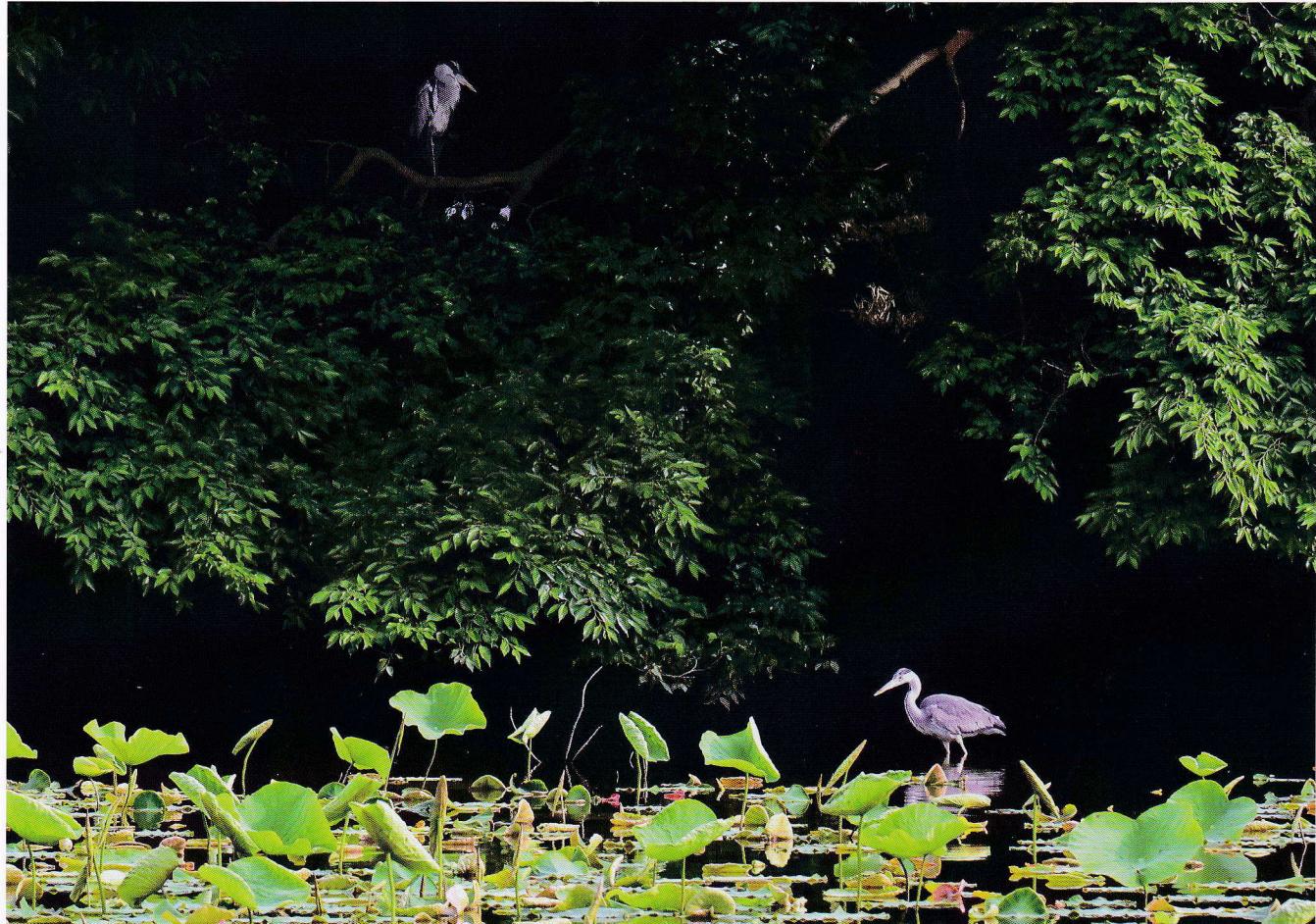


緑のある都市復活

福岡城だより

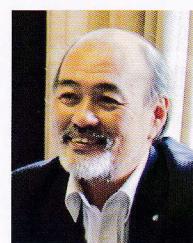
2019.夏
SUMMER
No.62



福岡城・城下町フォトコンテスト大賞作品「緑のサンクチュアリ」平井 精一様

淘汰とアーカイブズ

福岡市美術館館長 中山 喜一朗



「埋蔵文化財も古美術で
しょ?」と問い合わせられた
ことがある。「地上から一度
は失われたものと、ずっと
守られ伝えられてきたもの
という違いはありますよ」

と答えた記憶がある。一方で、「火事のときはこれ
持つて逃げろ、と言われたから相当な値うちがある
はずだ」という掛軸を持ちこまれ、「価値はありま
せん」と答えるかわりに「処分などしないで大切に
してください」と困った顔で返答したことは一度や
二度ではない。ミュージアムは収集資料を選ぶ。一応
の淘汰である。選んだものは保存し続けるから資料
は確実に増え続ける。福岡のように掘れば何かが出
てくる土地なら、埋蔵文化財はずっと増え続ける。
アーカイブ（記録・保存）が重要なのはわかっている
が、このまま増え続けても大丈夫かと少し心配にな
る。

博物館が扱う歴史資料は、近代の資料であっても
一定の時間的な経過にともなって、保存し継承しよ
うとする民意が働いている。学芸員は民意の代弁者
として資料を調査する。そこではじめてアーカイブ
が行われ、あるものは文化財になる。生み出された
ばかりの現代作品やアニメ、ゲームなどには時代の
評価という淘汰を経ていないものも多い。しかし
アーカイブズがなければ、あとから検証できず、消
費されて失われていくだけである。だから「なにこ
れ。わけわかんない」みたいなものをとりあげて展
覧会に仕立て、ときには収集する美術館の学芸員は、
「昔はわからなかつたけれど、いま見るといいね」
などと来館者に言わると、ほつとして胸をなでお
ろし、にわかに知つたかぶりの解説をはじめるので
ある。淘汰もアーカイブもなかなか難しい。

シリーズ 在りし日の福岡城・鴻臚館への誘い - 3

福岡城市民の会会員

室川 康男 (画・写真・文)

「鴻臚館北館・東門：遣唐使風待ちの歌会」

7月の風の無い暑い日が続いています。沖には風待ちの4隻の遣唐使船が帆を下ろして、浜では船員たちが忙しく食料や水を運び込んで出航に備えています。

ここ東門2階は微かな海風で暑さはしのぎやすく、松林からはしきりに蝉時雨が聞こえます。海を見れば水平線の彼方に、北西の方角は遠く長安に、また東方は都に思いをはせることができます。

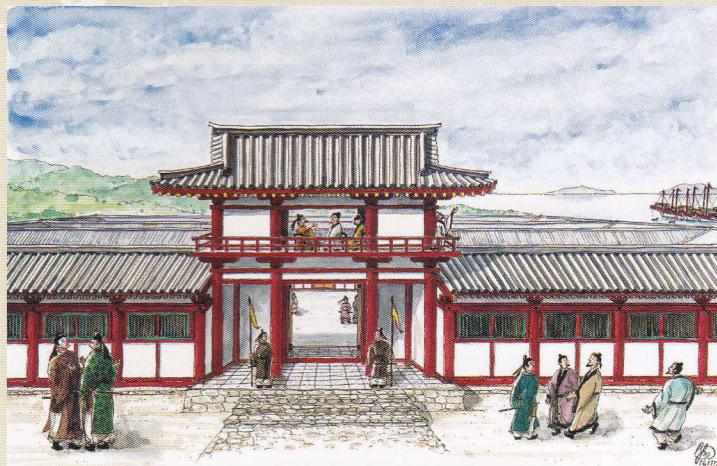
今、大使、副使を交えて歌会の真っ最中です。

季節風が頼りの遣唐使船。遣唐使一行は、風待ちのため幾日も鴻臚館に滞在し、囲碁や歌会を楽しみました。歌会では危険な航海の無事を祈り、また故郷で待つ妻子を偲んで歌を詠みました。

遣唐使は唐の元旦に行われる朝賀の儀に参列するために7～8月には出航します。南東の季節風を利用して、4隻編成で総勢500人前後が分乗し、朝貢の品を満載して、東シナ海の荒波を乗り切って入港しました。しかし一行の中でも正式な使節、随員のみ（4分の1ほど）が入京を認められ、さらに陸路を長安まで駅伝制によって送られました。復路は、先進の多くの文物を土産に冬の激しい西の季節風（帰りの方が遭難が多い）に乗って帰港しました。遣唐使は全20回（第一回630年～廃止894年）、260年もの長きにわたり行われた奈良、平安時代の政策です。無事帰国できたのは平均60%という決死の旅でした。旅のもう一つの目的は先進的技術、政治制度や文化、および仏教の經典などを持ち帰ること。これによって日本文化の礎が築かれていきました。



「鴻臚館北館・東門：小野篁と唐人沈道古、漢詩を唱和す」



詩人、歌人で、武芸にも秀で、參議（公卿）という高位にまでなりましたが、奇行も多く、なぜか「閻魔府の第二の冥宮」とも言われていました。昼は朝廷に出て、夜は閻魔府に勤めていたという奇怪な伝説が今なお語り伝えられています。そして京都、「六道珍皇寺」には冥界に通うのに使ったという井戸が本堂裏の庭内に実在しているのです。

「遣唐使、船出の別れ」

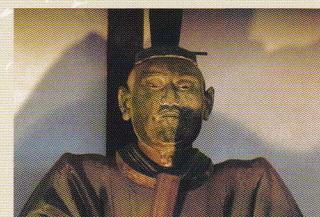
待っていた夏の季節風が吹き始めました。食料や水などは既に積み終わり、帆も上がっています。風待ちをしていた遣唐使一行が乗船を始めています。

鴻臚館の浜には別れを惜しむ姿がありました。決死の航海を前にして、第19次遣唐使大使藤原常嗣（2代目大宰權帥）と筑紫の娘女（おとめ）との別れでしょうか。あり得る光景です。正に大宰府水城東門での「帰京する大宰府長官大伴旅人と娘女児嶋との袖振りの別れ」場面をも想像させます。そして脇には妻子との別れを惜しむ副使の姿も。

遣唐使の構成は大使1人、副使1、2人、判官、記録官、下級官人、技術者や船員、他には留学生、僧侶ら総勢250～500人で構成されていました。

潮の香りと蝉時雨の中、東門2階から、漢詩の唱和が朗々と聞こえます。その美しい唐代長安音の詩の響きに、ここは唐なの？誰が唱和しているの？居合わせた人々は聞き惚れています。

滞在しているのは、大使藤原常嗣、副使小野篁（おののたかむら）のもと第19次遣唐使の一一行。時を同じくして滞在していた沈道古という唐人は小野篁が漢詩の達人と知り、申し出で二人はしばしば詩賦の唱和を行いました。その悠長な響きのなか航海を前にした一行にとっては心安らぐひと時だったでしょう。しかし出航の時となって、小野篁は船の件で大使と争い、病と称して唐へは行かなかったため嵯峨天皇の怒りに触れて、隠岐へ流罪となっています。



小野篁像(六道珍皇寺)



NPO法人 福岡城市民の会総会開かれる

2019年度通常総会が6月14日午後、福岡市中央区の読売新聞西部本社1階「よみうりプラザ」で開催され、
2018年度決算と今年度の事業計画案、活動予算案が承認されました。

平成30年度決算 活動計算書

平成30年4月1日平成～31年3月31日まで

(単位：円)

科目	特定非営利活動に係る事業	その他の事業	合計
I 経常収益			
1 会費収入	1,020,000		1,020,000
正会員受取会費	772,000		772,000
賛助会員受取会費	17,286		17,286
2 受取寄付金			
3 事業収入	188,000		188,000
イベント事業	1,813,350		1,813,350
市民講座事業		4,525	4,525
4 その他の収益	29		29
受取利息	140,471		140,471
雑収益			
経常収益計	3,951,136	4,525	3,955,661
II 経常費用			
1 事業費			
(1) 仕人			
期首商品棚卸高			
当期仕入高		487,244	487,244
他勘定振替高		△ 110,485	△ 110,485
期末商品棚卸高		△ 376,227	△ 376,227
仕入原価計	0	532	532
(2) 人件費	528,000		528,000
給料手当			0
福利厚生費			0
人件費計	528,000		528,000
(3) その他の経費			
外注費	100,000		100,000
広告宣伝費	3,812		3,812
ガイド料	101,000		101,000
消耗品費	22,364		22,364
旅費交通費	79,600		79,600
諸会費	20,000		20,000
保険料	6,750		6,750
通信費	222,153		222,153
手数料	115,636		115,636
諸謝金	715,000		715,000
印刷製本費	311,040		311,040
寄付金	174,228		174,228
雑費	195,737		195,737
その他経費計	2,067,320	0	2,067,320
事業費計	2,595,320	532	2,595,852
2 管理費			
(1) 人件費			
役員報酬	96,000		96,000
給料手当	975,420		975,420
法定福利費	5,345		5,345
人件費計	1,076,765		1,076,765
(2) その他の経費			
顧問料	216,000		216,000
広告宣伝費	15,433		15,433
事務用品費	345,391		345,391
旅費交通費	97,740		97,740
手数料	60,006		60,006
租税公課	600		600
保険料	5,940		5,940
通信費	223,416		223,416
諸会費	67,000		67,000
新聞図書費	49,533		49,533
会議費	12,960		12,960
雑費	88,196		88,196
その他経費計	1,182,215		1,182,215
管理費計	2,258,980	0	2,258,980
経常費用計	4,854,300	532	4,854,832
当期経常増減額	△ 903,164	3,993	△ 899,171
III 経常外収益			
1 前期損益修正益			
経常外収益計	0		0
IV 経常外費用			
1 雜損失	2,700		2,700
経常外費用計	2,700		2,700
経常外取引前当期正味財産増減額	3,993	△ 3,993	0
法人税・住民税及び事業税			
当期正味財産増減額			
前期繰越正味財産額			
次期繰越正味財産額			

2019年度事業計画

2019年度のイベント事業として「どんたく福岡城演舞台」を当会関係機関の読売新聞西部本社、FBS福岡放送、エフエム福岡と実行委員会を立ち上げて運営する。5月3日午前中は市民どんたく隊の受け入れ、5月4日午前中は黒田家第16代当主黒田長高様をお迎えし、柳生新影流による四方祓い、稚児の舞楽等の伝統行事を行う。下之橋御門広場では三福神を迎え、一束一本の儀式を行う。両日とも午後は、若者による「福岡城ダンス・フェス」が行なわれる。

観桜の時期には、福岡市が主催する「福岡城さくらまつり」にあわせて、まつりの期間中利用できるお茶券を会員へ配布して、平素のご支援に報いる。

研究・啓発事業の柱として続く「福岡歴史観光市民大学」は2019年度で第12期の開催となる。充実した講師陣を迎える、高レベルでありながら市民の方々が理解しやすく、しかも他の市民講座にはない特色ある講義を提供したい。ガイドツアー事業では好評の福岡城めぐり、及び福岡城・鴻臚館の将来を市民と考える実行委員会の主催で行うストーリーツアーを更に工夫して実施する。また、ゆかりの地を訪れる歴史探訪ツアーも計画している。昨年度から新たに始めた株式会社大央の特別協賛による「福岡城・城下町フォトコンテスト」を実行委員会主催で実施する。また「福岡市民大茶会」や「みどりのまちマルシェ」など他団体との連携・共催事業も引き続き実施する。

以上の諸計画を円滑に推進していくために、財政基盤の一層の充実と事務局体制の整備が引き続き課題である。ひきつづき会員拡大のためキャンペーンを展開し、役員・関係者・事務局員が協力して、会員拡大に努めるとともに、運営面では徐々に進めてきた事務局の充実をより図り、2019年度も積極的な取り組みを継続してまいります。

石井理事長は、総会冒頭、会員の皆様のご支援へ感謝の言葉を述べた後、次のように語りました。「NPO設立以来の念願である天守閣復元を掲げつつ、世情の変化に対応した活動が必要である。行政が文化財等の保護・復元から整備・活用の方向へシフトしている中、当会もそれに従いつつ、また国際化の要請にあった活動もしていかたい」

《報告》

5月24日の理事会を経て総会が開催され、無事終了したことを、会員の皆様にご報告します。この度は、役員の選任が行われ、従来からの理事に加わる新任理事として、千相哲氏(九州産業大学 地域共創学部長)、三角薰氏(福岡商工会議所 総合企画部参事役)の両氏が加わりました。詳細につきましては、当会のHPに掲載しています。ご質問がありましたら、当会へお尋ねください。

総会後は、「記念講演」として福岡市住宅都市局花とみどりのまち推進部みどり政策課主査別府浩司氏による、セントラルパーク構想をテーマにした講演がありました。セントラルパーク基本計画の概要と構想策定後からこれまでの取り組み状況など、限られた時間内に収まるようコンパクトながらも、大変わかりやすく説明していただきました。計画について記者発表があった直後でもあり、会場の会員からは質問が相次ぎ、皆さんの関心の高さがうかがわれました。

夕方は、会場を天神「野の葡萄」に移し、40余名の会員の皆様が和気藹々と交流を深めました。

編集後記

今回の総会後の講演は「セントラルパーク構想」についてのお話でした。大濠公園と舞鶴公園を一体化した構想ですが、会場の会員からは名称を「福岡城公園」と変更してはいかがでしょうか…との意見に拍手が上がっていました。今後の進展を長く見守りたいと思います。会員の皆様のお声をどうぞお待ちいたします。

編集・発行

NPO法人:福岡城市民の会

〒810-0042

福岡市中央区赤坂1-12-15 読売福岡ビル7階
TEL 092-716-8238 FAX 092-716-8254

[HPアドレス] <http://fukuokajokorokan.info>
[E-mail] staff@fukuokajokorokan.info

[デザイン・印刷] 城島印刷株式会社

福岡城市民の会

検索

おしらせ		実施日
申込み	8月30日(金)	JR博多駅 新幹線 7時集合翌20時半帰着
参加料	(お一人様)	「一日目」関ヶ原・黒田長政・竹中重門・陣跡 垂井・五明稻荷神社・青我記念館・竹中氏 陣屋跡・禅憧寺・竹中半兵衛墓・東軍赤坂 本陣・合渡川戦跡・ホテル
締切り	1名1室 2名1室 3名1室	「二日目」関ヶ原歴史民俗資料館・石田三成陣跡・島津陣跡・小西陣跡・徳川家康最後陣跡・田中吉政陣跡・福島正則陣跡・関ヶ原駅前 観光交流館・JR米原駅
TEL	092-711-5519 FAX 092-711-1969	18時(20時) JR九州ホテルブロッサム 「どちらそつダイニング ななつの花」
会員	6,000円	廣岡まり 西木康則 鈴木典子 古賀カロリン 廣岡茂男 相良新介 浜田長司 石上博
場所		一般会員(個人) 千相哲原寛 大久保征太郎 正会員(個人) (2019年6月30日現在)